

目標達成計画

作成日：平成25年11月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	居住スペースの確保の為に、壁側にベッドをつけて設置し、立ち上がりの補助の為にベッド柵をつけているが、入居者の行動の抑制につながる可能性がある	ベッドの配置やベッド柵の設置方法を見直し、入居者の行動を抑制することにならないよう環境整備を行う	入居者・家族からの聴き取りを行い、入居者の転倒のリスクや動きやすさ等を考慮して、ベッドの配置やベッド柵の見直しを行う。ベッドを壁から離せる方は離してベッド柵1本で様子を見る	6ヶ月
2	33	看取りのマニュアルの中に、これまでの職員の経験を活かせると良い	看取りにおける職員個々のノウハウを全員で共有できるようなマニュアルを作成して、実践できるようにする	各職員のこれまでの経験を活かし、新人でも同じケアができるようにマニュアルの見直しを行う。主治医や医療連携の看護師にも指導を仰ぐ。	12ヶ月
3	45	入居者一人ひとりの希望に合わせた曜日や時間帯に入浴して頂くことが困難な状態である	入居者の希望に少しでも近づけられるように取り組むを行う	入居者一人ひとりに、入浴の曜日や時間帯、回数などについて聞き取りを行い、職員間での話し合いをする。	12ヶ月